

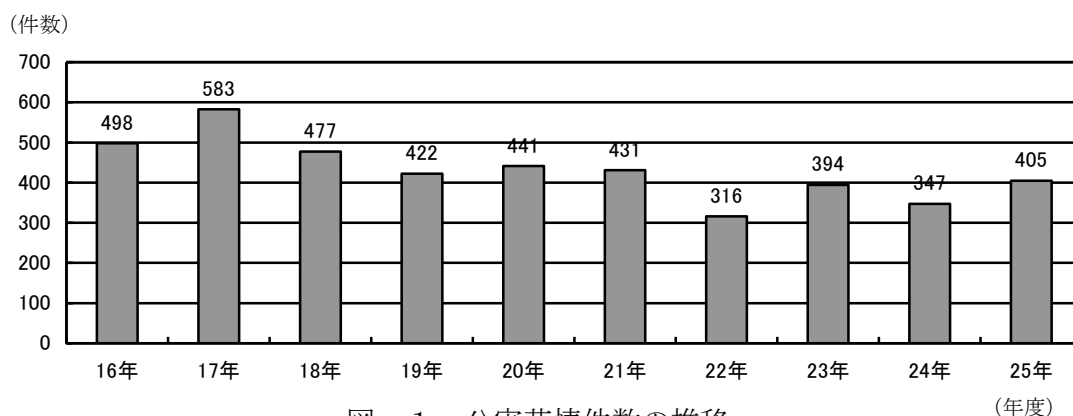
平成25年度 公害に関する苦情処理状況＜資料編＞

市民からの公害苦情については、大部分が大気汚染、水質汚濁、騒音等の「典型7公害」に関するものである。光害、熱風など日常生活において不快感を伴うものを含め、多数の苦情が市に寄せられている。

1 全市の公害苦情件数の推移

全市の平成25年度の公害苦情の受付件数は405件であり、平成24年度（347件）と比べて58件増加した。

種類別にみると、騒音に係る苦情（工事現場の作業音等）が121件と最も多く、次いで、大気汚染に係る苦情（野焼き、粉じん等）が107件、水質汚濁に係る苦情（油膜が広がっている等）が90件と多かった。



図－1 公害苦情件数の推移

表－1 種類別の公害苦情件数の推移

種類／年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
大気汚染	209	287	176	186	193	136	80	118	116	107
水質汚濁	19	15	15	8	38	123	91	75	50	90
土壌汚染	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0
騒音	161	133	132	102	99	94	59	101	105	121
振動	24	26	38	19	18	7	10	21	19	24
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	77	108	105	93	84	67	67	71	48	54
小計	490	569	466	408	433	429	308	386	338	396
その他	8	14	11	14	8	2	8	8	9	9
合計	498	583	477	422	441	431	316	394	347	405

2 区別の公害苦情件数

平成 25 年度の区別の公害苦情件数は、西区が 83 件と最も多く、次いで、中央区が 63 件、東灘区が 56 件と多かった。

最も公害苦情件数が多かった西区において、種類別にみると、大気汚染に係る苦情が 37 件と最も多く、次いで、水質汚濁に係る苦情が 23 件と多かった。

表－2 平成 25 年度 区別の公害苦情件数

種類／区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計
大気汚染	17	2	8	1	22	9	4	7	37	107
水質汚濁	11	3	15	7	13	7	4	7	23	90
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	16	9	31	6	9	9	16	16	9	121
振 動	4	3	2	1	2	1	6	2	3	24
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	8	2	7	14	3	2	3	4	11	54
小 計	56	19	63	29	49	28	33	36	83	396
そ の 他	0	2	0	3	1	1	0	2	0	9
合 計	56	21	63	32	50	29	33	38	83	405

3 月別の公害苦情件数

平成 25 年度の月別の公害苦情件数は、5 月が 52 件と最も多く、次いで、7 月が 48 件と多かった。

表－3 平成 25 年度 月別の公害苦情件数

種類／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大気汚染	12	12	8	14	6	9	8	11	7	7	9	4	107
水質汚濁	6	7	10	6	10	5	9	6	10	10	5	6	90
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	9	20	12	19	5	12	6	10	9	7	4	8	121
振 動	5	5	2	2	0	2	1	2	1	1	3	0	24
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	1	7	7	5	7	9	2	1	7	4	3	1	54
小 計	33	51	39	46	28	37	26	30	34	29	24	19	396
そ の 他	2	1	0	2	0	1	1	1	1	0	0	0	9
合 計	35	52	39	48	28	38	27	31	35	29	24	19	405

4 用途地域別の公害苦情件数

平成 25 年度の用途地域別の公害苦情件数は、住居系地域が 183 件で最も多く、次いで商業系地域が 81 件で多かった。住居系・商業系地域では騒音の件数が多く、市街化調整区域では大気汚染、工業系地域では水質汚濁の件数がそれぞれ多かった。

表－4 平成 25 年度 用途地域別の公害苦情件数

種類／用途地域	住居系 地域	商業系			工業系				市街化 調整区 域	計
		近隣商 業地域	商業 地域	小計	準工業 地域	工業 地域	工業専 用地域	小計		
大気汚染	48	4	8	12	3	4	0	7	40	107
水質汚濁	32	0	7	7	11	6	8	25	26	90
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	66	17	21	38	12	2	0	14	3	121
振 動	13	7	1	8	2	0	0	2	1	24
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	19	9	6	15	5	4	1	10	10	54
小 計	178	37	43	80	33	16	9	58	80	396
そ の 他	5	1	0	1	3	0	0	3	0	9
合 計	183	38	43	81	36	16	9	61	80	405

5 発生源別の公害苦情件数

騒音、振動の苦情では、その半数以上が建設現場を発生源としており、一方、大気汚染、水質汚濁、悪臭の約半数では原因が不明などであった。交通機関や一般家庭を発生源とする公害苦情件数は少なかった。

表－5 平成 25 年度 発生源別の公害苦情件数

種類／発生源	事業場	建設現場	交通機関	一般家庭	その他 (野焼き等)	計
大気汚染	10	36	0	0	61	107
水質汚濁	37	6	2	3	42	90
土壌汚染	0	0	0	0	0	0
騒 音	33	68	2	2	16	121
振 動	1	18	4	0	1	24
地盤沈下	0	0	0	0	0	0
悪 臭	22	1	0	2	29	54
小 計	103	129	8	7	149	396
そ の 他	0	1	0	1	7	9
合 計	103	130	8	8	156	405